

事務事業名		ジョブカフェ気仙支援事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業	
政策体系	政策名	01 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間	
	施策名	06 雇用の創出と安定			
	基本事業名	01 働く場の確保			
根拠法令				単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成18 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
所 属	部課名	商工港湾部商工課			
	課長名	富澤 武弥			
	係 名	労政係	電話	27-3111	
	担当者	森 拓真	内線	111	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
県、気仙2市1町、商工会議所等が共同で設置した就職支援センターである「ジョブカフェ気仙」に従事する職員を配置し、運営支援を行う。 (非常勤職員の勤務時間)10:00～17:00、1日6時間、週5日 (非常勤職員の職務内容)来所者の受付(業務内容の説明、受付簿への記入等)。パソコン利用者への操作指導。(求人検索、eラーニング等操作補助の必要な方への指導)データ管理。(毎日の受付件数等をパソコンで行い、統計処理する) 主な業務は、運営費補助金交付。事業費は、運営費補助金に支出される。				総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
運営費補助金の交付を実施。(補助金は、気仙管内企業ガイドブック『じよぶ☆なび☆ケセン』発行事業に使用)		ア	じよぶ☆なび☆ケセン発行部数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同様		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・ジョブカフェ気仙		名称	
		単位	
		カ	ジョブカフェ気仙来所者数
		キ	ジョブカフェ気仙スタッフ
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
円滑に運営してもらう		名称	
		単位	
		サ	カウンセリング件数
		シ	企業訪問、学校訪問件数
		ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
就労の場を確保する。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(実績)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	800	800	800	800	500	500
	事業費計(A)		千円	800	800	800	800	500	500
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	2	2	2	2	2	2
		人件費計(B)	千円	8	8	8	8	8	8
		トータルコスト(A)+(B)		千円	808	808	808	808	508
⑤ 活動指標		ア	部	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
⑥ 対象指標		カ	人	543	485	445	686	494	
		キ	人	6	6	6	6	6	
⑦ 成果指標		サ	件	148	90	118	142	126	
		シ	件	384	353	404	487	475	
		ス							

事務事業ID	1207	事務事業名	ジョブカフェ気仙支援事業
--------	------	-------	--------------

- (3) 事務事業の環境変化・住民意見等**
- ① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
平成17年6月、ジョブカフェいわて気仙サテライトの設置を岩手県に要望した際、県側から示された条件として、市正規職員の配置が示された。開設から震災後の再開まで、臨時職員で対応していた。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
国のジョブカフェ事業は平成18年度で終了した。さらに、平成20年度の県の予算額は前年度の7割となり、平成19年度まで高校に配置されていた就職支援相談員は廃止され(県教委予算)、高校支援業務をジョブカフェスタッフが担うことになった。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
定期的に関係者によるミーティングを開催し、ニーズに合った支援を行うようにしている。
気仙管内で約85%の高卒者が、地元を離れる状況となっていることから、持続可能な地域社会を構築するために、地元就職やUターンを促す取組が必要である。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	安心して働けるよう求職者、在職者の不安を取り除く相談窓口を整備することにより、就労の場の確保につながる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	若者の就労支援、離職対策が最優先課題となっている中、雇用環境を整備していくことは市の仕事であるため。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	対象は、利用者(求職者、就業者)やスタッフであり、スタッフがカウンセリングや各種セミナー等の仕事に専念できることは、利用者が必要とするサービスの提供に繋がるため、対象、意図とも限定・追加・拡充する必要はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	利用者である気仙管内の若年者は、数年で大きく増加することはないので、現状以上の件数増加は見込めない。また、企業訪問及び学校訪問件数については、現在は、定期的かつ要請に応じたを訪問し、企業や学校にとって魅力的な支援メニューを提示している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	運営費補助金については、平成20年度に県費が削減された分について補填しているものであり、廃止した場合提供しているサービスの低下を招く。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	事業費は、必要最小限の運営費補助金のみであり、これ以上の削減は出来ない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	最小限の人数で対応しており、これ以上の削減は出来ない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	受益者は現在、無料で利用しているが有料とした場合、お金がないので、相談できない。=悩み事を解決できない。=就業意欲の減退を導くことになるので、受益者負担を求めることはできない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																					
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) → ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 国のジョブカフェ事業は平成18年度で終了しているが、ジョブカフェ気仙は、地域主体で運営すべきでもあり、サービス低下をまねかないよう、従来どおりとする。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	就業支援として多くの方の多岐に渡る相談に対応するとともに、学校や事業所へ積極的に訪問し、地元就職あっせんに努めるなどの支援により、ジョブカフェ気仙を適切に運営すること。